

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ー

現在、八千代医療センター消化器内科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 上部消化管内視鏡検査における胃腫瘍発見のための quality indicator に関する研究

[研究対象者]

2019年4月1日から2025年3月末日の間に東京女子医科大学八千代医療センターに通院または入院にて、胃腫瘍（癌、腺腫）に対して、内視鏡治療(ER)もしくは手術療法が施行された患者

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：年齢、性別、病理、腫瘍の形態、薬剤使用歴、内視鏡検査情報（観察時間、写真枚数、白色光・NBI・インジゴカルミンの使用の有無等）

[利用の目的] （遺伝子解析研究：無）

胃癌・胃腫瘍を効率よく発見できる方法を検討

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2025年3月までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されないことがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学八千代医療センター消化器内科 科長 新井誠人

研究内容の問い合わせ担当者：同上

電話：047-450-6000 内線7050（応対可能時間：平日9時～16時）

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ー

現在、八千代医療センター消化器内科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 発見困難な大腸腫瘍を対象とした下部消化管内視鏡検査の質向上を目指す研究

[研究対象者]

2019年4月1日から2025年3月31日の間に東京女子医科大学八千代医療センターに通院または入院をし、下部消化管腫瘍に対して、下部消化管内視鏡治療もしくは手術療法が施行された患者

[利用している診療情報等の項目]

Clinical Background (腫瘍の部位および形態、病理も含む)、前回内視鏡検査に関連する因子 (前処置の方法、前処置は良好であったか、鎮痙薬、鎮静薬、施行医のADR、施行医の専門、施行医の上部消化管病変発見率)、過去の静止画、動画を用いた医師もしくはAIによる検出の可否、挿入時間と観察時間、憩室などの併存疾患の有無

[利用の目的] (遺伝子解析研究：無)

大腸腫瘍を効率よく発見できる方法を検討

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2025年3月までの間 (予定)

[画像解析]

当院で行った内視鏡検査の画像を、株式会社AIメディカルサービス(責任者名：多田智裕)の早期がん発見システムで解析します。

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学八千代医療センター消化器内科 科長 新井誠人

研究内容の問い合わせ担当者：同上

電話：047-450-6000 内線7050 (応対可能時間：平日9時～16時)

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、八千代医療センター消化器内科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 緩和治療としての食道ステントの有用性の評価

[研究対象者] 2006年12月～2022年1月までの間に、八千代医療センターにて悪性腫瘍による食道狭窄と診断され、食道ステントを留置された方

[利用している診療情報等の項目]

年齢、性別、既往歴、家族歴、内服薬、悪性腫瘍の状態、血液検査所見、画像所見、PS、罹病期間、ステント留置前後の治療歴、入院中の経過・期間、使用薬剤、最終観察日。

[利用の目的] (遺伝子解析研究：無)

悪性腫瘍による食道狭窄例に対して、緩和治療を目的としたステント留置の安全性と有用性を明らかにすることを目的とします。

[利用期間] 倫理審査委員会承認後より2022年12月までの間 (予定)

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、どなたのものなのかわからないように安全管理措置(匿名化)をしたうえで取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学 八千代医療センター 消化器内科 教授 新井誠人

研究内容の問い合わせ担当者：同上

電話：047-450-6000 応対可能時間：平日9時～16時)

ファックス：047-458-7047

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ひ-

現在、八千代医療センター消化器内科では、本学で保管している診療後の診療情報等と下記共同研究機関から提供いただいた診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 肝疾患症例におけるディスペプシアおよびGERD症状の評価（多施設）

[研究対象者] 2023年9月から2024年2月の間に、八千代医療センター消化器内科にて肝疾患と診断され、当院にて消化器内科で診断・治療を受けられた方。2025年4月から2025年9月の間に千葉労災病院および東千葉メディカルセンターにて肝疾患と診断され、それぞれの施設にて消化器内科で診断・治療を受けられた方。

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：診療情報等：Fスケール問診表におけるスコア、年齢、性別、肝疾患の原因、肝細胞癌の既往の有無、ウイルス性肝炎の有無、胃酸分泌抑制薬の使用の有無、血液検査データ（T-Bil、Alb、PT、AST、ALT、G-GTP、アンモニア、血小板数、ヒアルロン酸）、画像検査（腹部エコー検査による two-dimensional shear-wave elastography、肝硬変の有無、腹水の有無）、Child-Pugh 分類、FIB-4 Index

[利用の目的]（遺伝子解析研究：無）

肝疾患を有する患者におけるディスペプシア、GERD（胃食道逆流）症状を評価し、その要因を明らかにすることを目的とします。

[主な共同研究機関及び研究責任者]

1. 東千葉メディカルセンター消化器内科・副部長 亀崎秀宏
2. 千葉労災病院消化器内科・副部長 関本 匡

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2027年3月までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治

研究責任者：東京女子医科大学 八千代医療センター消化器内科 科長 新井誠人

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 八千代医療センター消化器内科 科長 新井誠人

電話：047-450-6000（応対可能時間：平日9時～16時）

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ひ-

現在、八千代医療センター消化器内科・化学療法科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 高齢者のがん治療の実際と社会的環境との関連

[研究対象者] 2021年4月～2025年3月までの間に、八千代医療センター消化器内科・化学療法科にて切除不能・再発進行がんと診断され、八千代医療センター消化器内科・化学療法科で診断・治療を受けられた方

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：年齢、性別、病歴、血液検査結果、癌種、病理所見、PS（注1）、G8スコア（注2）、臨床病期、同居家族の有無と年代、Care Giver（注3）の有無と年代、生命予後、緊急入院の有無、介護保険認定、利用している介護保険サービス（訪問診療・看護・介護）

（注1）全身状態の指標の1つで、患者さんの日常生活の制限の程度を0から4の5段階で示します。

（注2）栄養状態、認知機能、日常生活動作、併存疾患の有無などに関する8項目の質問項目の合計点数です。

（注3）がん患者を実際にサポートする人のことです。

[利用の目的]（遺伝子解析研究：無）

緊急入院やがん治療の予後などに関連する因子を身体的な状況だけでなく社会的背景も含めて解明することを目的としています。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2027年3月までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治

研究責任者：東京女子医科大学 八千代医療センター消化器内科・化学療法科 科長 新井誠人

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 八千代医療センター消化器内科・化学療法科 新井誠人

電話：047-450-6000（応対可能時間：平日9時～16時）